

1. 事業名：

「歯科医療従事者人材確保育成支援事業」

2. 申請者名：

一般社団法人岩手県歯科医師会会長 佐藤 保
 担当者氏名 常務理事 鈴木 卓哉
 理事 中里 登紀子

3. 実施組織：

一般社団法人岩手県歯科医師会

4. 事業の概要：

岩手県歯は深刻な歯科衛生士、歯科技工士不足を解決するため平成26年より復職を目指す衛生士の研修会開催をはじめ、歯科衛生士、歯科技工不足の解決向けさまざまな事業を展開してきた。「骨太方針2021」に全身と関連性を含む口腔の健康の重要性に係るエビデンスの情報提供、生涯を通じ切れ目のない歯科健診、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防等、歯科医師、衛生士による歯科口腔保健の充実、歯科衛生士、歯科技工士の人材確保等歯科保健医療提供体制の構築と強化が必要とされている。少子化が進む現代において歯科衛生士、歯科技工士の新たな人材確保は困難な状況である。この課題に早急に対応すべく、中高生対しに歯科衛生・歯科技工士を周知する媒体を検討した。

5. 事業の内容：

1 歯科医療従事者（歯科衛生士、歯科技工士）スキルアップ研修会の開催

新設の検査等に基づく治療を県民が広く享受できるよう、新規医療技術に対応できる歯科衛生士及び歯科技工士を養成するとともに、本県の歯科保健医療の質の向上を図るため、歯科医療従事者（歯科衛生士、歯科技工士）のスキルアップのための研修会の事業を行った。

2 歯科医療従事者（歯科衛生士、歯科技工士）を目指す学生のための啓発資料の作成

良質な歯科医療を行う上で歯科衛生士、歯科技工士の役割が大きいことから歯科衛生士、歯科技工士職務内容を認識するため歯科衛生士、歯科技工士を目指す中学生、高校生向けの媒体等啓発資料を作成した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

1. 歯科医療従事者（歯科衛生士、歯科技工士）スキルアップ研修会を開催した。歯科技工士のスキルアップ研修会はCAD/CAMシステムの新技术に関するもので、これからの歯科技工業務のデジタル化に向けて参加者には好評であった。歯科医師との連携や質の高い歯科医療の提供という観点から重要な項目であった。

2. 歯科衛生士、歯科技工士を目指す中学生、高校生向けの媒体等啓発資料はR3年度末に完成した。R4年度に学校歯科医を通じ中・高等学校に配布する予定であり、さらに学校歯科医が講話に活用できるPDFを作成して、今後学校側や保護者に対してPRしていくかが課題である。また、この媒体を利用し、県民向けに歯科衛生士、歯科技工士周知のテレビCMを作成し放映したが、早速それを視聴した休職中の歯科衛生士が、H26年からの復職支援制度を利用する申し出があり、今後もさらなる活用を検討する必要がある。